

近位端骨折クリニカルパス

病名()

氏名(様)

	入院～手術前日	手術当日(手術前)	(手術後)	術後1日目	術後2～4日目	術後5日目～退院まで	退院日
説明	○麻酔科医の診察があります。 ○主治医より手術説明があります 主治医の状況によって遅くなることもあります。ご家族の方もお待ちいただきますようご協力お願いします。	手術：時 分予定 家族の方は、手術予定時間の1時間ほど前には病棟にお越し下さい。					入院2週間程度で転院となります
治療 処置 検査	○リストバンドを装着します。 ○弾性ストッキングの測定をします。 ○足背にマジックで印をいれます(看護師) ○手術側にマジックで印を入れます(主治医)	手術中、家族の方は4階手術室前でお待ち下さい。 	○自動血圧計がつかます。 ○酸素を使用します。 ○点滴が入ります。 ○弾力ストッキングをはきます。 ○足にマッサージ機がつかます。				
薬							
食事	手術前日の夜から食事・水分・内服薬の変更指示が出ます。説明は、入院後に看護師から行います。	絶飲食 	○手術当日の吐き気・痛みに対しては点滴を使用します。 	朝から鎮痛剤の定期内服をします。 術後は院内処方薬に切り替わります。常備薬の内服再開は、医師に確認してください。			
排泄			尿カテーテルが入ります(手術中には入ります)	○ベッド上安静中の排便は、床上便器を使用します。			
活動	ベッド上で過ごしてもらいます 			○リハビリを開始します。			
清潔				○体を拭きます。 ○尿カテーテルが入っている間、陰部洗浄を毎日行います。		術後5日目以降でシャワー浴を開始します。 	
その他	○手術の流れを説明します。 ○手術必要物品を確認します。 	〈手術室入室前チェック〉 ○身体から外せるものは、すべて取り外して下さい。 例) ○アクセサリ ○マニキュア ○入れ歯、湿布薬 ○コンタクト・レンズ ○金庫の鍵(家人に預ける)	☆術後、翌朝までは2時間毎に足の運動・痺れの状況を確認します。	☆弾力ストッキングの使用により、皮膚にかゆみや痛みを感じる事があれば看護師に伝えて下さい。 ☆術後、足に痺れや感覚障害、運動障害が出現したときはすぐに看護師に知らせてください。 ☆退院時まで、転倒予防のパンフレット「転ばない暮らし方ガイド」について説明します。 ☆入院時から転院調整が始まります。地域医療連携センターの退院支援担当者が説明に来ます。 ☆診断書・証明書等が必要な場合は、文書窓口(2階)で手続きして下さい。			